

# 幕別ソフトテニス協会

## 協会の歩み

当協会の歴史は古く、昭和25年6月、止若在住の半井男三、笹原 登、篠田正男などの同好者によって組織された止若庭球協会が初めての記録である。

その後、一時停滞の時期があったが、昭和46年に、牛尾 毅、有沢隆則、末吉康弘、稲毛一郎、宇佐美忠士、逢坂幸次、宮本 彰、稲毛哲郎、佐古啓二、横川 清、奥田 仁ら元幕別中学校でプレーしていた先輩、後輩が中心になり幕別町軟式庭球同好会が発足した。

また、昭和53年に幕別地区ママさんテニス教室を、昭和54年には札内地区ママさんテニス教室が開催され、それぞれ各教室に出席したママさん達そのままクラブとして活動する様になりました。

昭和54年に名称を幕別町軟式庭球協会に改め、初代会長に、同好会会長であった芝木勝幸が就任した。平成4年、帯広軟式庭球連盟が帯広ソフトテニス連盟に名称が変更されたのに伴い、幕別町も幕別ソフトテニス協会に名称を変更して現在に至る。

昭和52年、幕別同好会の呼かけで全十勝町村大会を復活させ第一回大会が幕別町で開催されました。この大会は毎年、各町村が持ち回りで行われ、今年で21回を数えている。幕別協会は、第1回、第11回、第18回を担当し、昭和60年の第9回大樹大会で男子、また平成4年の第16回大樹大会で女子がそれぞれ優勝しました。

帯広で開催されている全十勝関係の各大会にも当協会の会員も数多く参加して活躍しています。札内スポーツセンターを会場に行われた、全十勝選抜ソフトテニス大会では、平成元年、千葉敦彦、柳田一晴組、平成3年に千葉敦彦、川田 豊組が優勝しています。



道民スポーツ大会では、平成元年、伊藤 智、千葉敦彦、川田 豊、奥田 仁、和賀和人、佐藤富士子、山田瑠理子、菊野あゆみ、渡辺明美、須口洋子で準優勝しています。

ママさん教室を開催以来、女性の進出もめざましく、平成3年の北海道招待試合で渡辺明美、島時（音更）組が優勝、同年第11回N C杯A級で渡辺明美、山田瑠理子組が優勝、同年第13回勝毎杯B級で佐藤富士子、木幡英美子組、平成4年の同じ大会で志民あゆみ、川田洋子組がそれぞれ優勝しています。

平成2年の札内スポーツセンターのオープンに伴い冬期に大会が開催できるようになり、また、同会場で中学生を対象に講習会を平成2年、平成3年に行うことができました。また、幕別中学校ソフトテニス部顧問 関根秀美、札内東中ソフトテニス部顧問 奥村康仁などの協力で町内大会に多数の中学生の参加が実現されました。

ソフトテニスは平成5年より国際ルールが各大会に適用になり、従来後衛、前衛の役割がはっきりしていましたが、このルールによって、前衛もサーブを打つようになり、従来の試合より変化のあるものになり、よりおもしろいゲーム展開が実現される様になりました。

現在、通年札内中学校体育館で毎週木曜日夜7時より9時まで練習していますが夏期の間は依田テニスコートでナイター練習に変更しています。

また、土曜日には夏期の間は依田コート、冬期間は札内スポーツセンターで午後1時より行っています。

現在、幕別町内の中学校ではソフトテニス部がありますが、町内の高校には、幕別高校の棚田一晴先生が転勤以来、ソフトテニス部が無くなってしまったのが、残念です。



#### 平成9年度 協会役員

会 長	松 村 博 義	理 事 長	末 吉 康 弘
事務局 長	千 葉 敦 彦	事務局 理事	川 田 豊
事務局 理事	斉 藤 りつ子	会 計	山 田 瑠理子
監 査	佐 藤 富士子		

## 平成9年度 協会事業

- 5月11日 コート開き及び春季町内大会  
中学生を含めて40名の参加がありました。
- 6月22日 第21回全十勝町村ソフトテニス大会本別大会に  
男子1チーム、女子2チーム派遣しましたが残念にも入賞はできませんでした。
- 7月27日 道民スポーツ大会に選手派遣。  
監督 有沢 隆則  
主将 千葉 敦彦  
選手 川田 豊、関根 秀美、郷 博幸、奥村 康仁  
選手 末吉 康弘、斉藤りつ子、志民あゆみ  
選手 大上富美子、佐藤富士子、長谷川周治  
選手 松村 博義、滝川多美子、渡辺 明美  
準決勝で帯広チームに敗れましたが3位に入賞しました。
- 9月14日 コート納め大会兼秋季町内大会  
大会終了後はみんなでジンギスカンを囲んで懇親を深めました。
- 11月30日 札内スポーツセンターで町内大会を開催。
- 2月1日 札内スポーツセンターで町内大会を開催。



平成9年 春季大会



平成9年 秋季大会